

# 普段から災害に備えるために

## 身の危険を感じたら、すぐに避難行動を!!

災害が起こりそうな時に『自分はどうするのか』(避難行動)を決めます。

災害時にどう避難するのかの要点をまとめて、「災害時の我が家の避難メモ」を作ってみましょう。

### ①家の周りの崩れそうな崖や浸水しそうな場所を調べる

自分の家がどのような場所に建っているのかを家族全員で把握しましょう。



- ハザードマップで確認するほか、直接目で確認したり、ご近所の方に聞いたりして、お住まいの地域の危険な場所を知りましょう。
- 佐世保市では地図情報検索サービス「させぼ街ナビ」で佐世保市ハザードマップおよび避難所マップを公開しています。



させぼ街ナビ

検索

### ②危険が迫ったときの避難行動を決める

(1) 危険が迫ったことを知る目安となる情報を集めましょう。

- テレビやラジオで雨の降り方や台風の進路・強さが分かります。
- NHKのデータ放送(dボタン)などで、お住いの地域の川の水位や雨の降り方を知ることができます。
- 市からの防災情報を確認することも重要です。
- 自主防災会の連絡網による周知も有効です。
- 川の増水などで、現地を確認に行くことは絶対に避けてください。



(2) 日頃から「自らの命は自らが守る」意識を持ち、避難する場合の行動を決めましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は?

必ず取り組みましょう!!



ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住いの方は、佐世保市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、以下の場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
- ②浸水する深さよりも高いところにいる。
- ③浸水しても水がひくまで我慢できる。水・食糧などの備えが十分にある。
- ④土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンションなどの上層階に住んでいる。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか?

いいえ



はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、佐世保市が開設する避難所に避難しましょう



警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、佐世保市が開設する避難所に避難しましょう